

取引先情報ファイル登録 チェック仕様

➤ 取引先情報のファイル登録のチェック仕様について記載する。なお、各項目の詳細については表 付録-4に記載する。

1. チェック順序

表 付録-4の項番順に従い、チェックを行う。

- (1) 表 付録-4中のチェック対象が「ファイル全体」の場合
エラーとなった場合は、チェック処理を打ちきり、ファイル全体をエラーとして扱う。
- (2) 表 付録-4中のチェック対象が上記(1)以外の場合
エラーとなった場合も、当該レコードのチェックを継続する。(※)

※ただし、1レコードあたり2件のエラーを発見した場合は、当該レコードのチェックを中断し、次レコードのチェックに進む。

2. ファイル登録に利用しない項目の取り扱い

各ファイルについて、表 付録-4に記載の項目のみ、チェック対象とする。記載が無い項目については、チェック対象外とするため、不正な値が設定されていても、読み飛ばすこととする。

3. 基本事項

取引先情報のファイル登録にかかる基本事項を、表 付録-3に示す。

表 付録-3 取引先情報のファイル登録にかかる基本事項

項番	チェック対象 (概要)	チェックがNGとなった場合のエラー種別 (登録状況)	エラーを確認する画面	取引先情報登録結果 ファイルの還元有無	取引先情報の 登録有無	備考
1	ファイル全体にかかるチェック条件	ファイル全体エラー	取引先情報ファイル登録結果一覧	無し	登録しない	ファイルの再登録が必要となる。
2	各レコードにかかるチェック条件	エラー	取引先情報ファイル登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	エラーとなった取引先情報は、ファイル等による再登録が必要となる。
3		正常(ワーニング有)	取引先情報ファイル登録結果詳細	有り (注1)	登録する	正常(ワーニング有)となった取引先情報は、登録済みであるため、ワーニング内容の修正が必要となる。
4		口座未確認	取引先情報ファイル登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	取引先情報ファイル登録結果詳細画面より、口座存在確認の実施が必要となる。

(注1)エラーもしくはワーニング有となった場合、表 別紙2. 3-5中のエラーコードに基づき、エラーコードならびにエラー内容を、「取引先情報登録結果ファイル」のエラーコード1、エラー情報1、エラーコード2、エラー情報2に設定する。

【チェック要否欄の凡例】
 ○:チェックする
 ×:チェックしない
 △:条件に合致する場合のみ、チェックする。

表 付録-4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (1/3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行	
											同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
1	ファイル全体	ファイル内にデータが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3924Le	○	○	○	○	○	○	○	
2		レコード長が規定のバイトであること。	ファイル全体エラー	CCOM3920Le	○	○	×	○	○	○	○	
3		規定のCSV形式であること。	ファイル全体エラー	CCOM3921Le	×	×	○ (注1)	○	○	○	○	
4		ファイルの先頭がヘッダレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le	○	○	×	○	○	○	○	
5		エンドレコードが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le	○	○	×	○	○	○	○	
6		ヘッダレコードの場合、先頭にあるか、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	
7		データレコードの場合、前のレコードがヘッダレコードかデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	
8		トレーラレコードの場合、前のレコードがデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	
9		エンドレコードの場合、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	
10		トレーラレコード以降に後続のレコードが存在する場合は、項番6～項番10のチェックを繰り返す。	-	-	○	○	×	○	○	○	○	
11		項番3～10のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が20,000件以内であること。(注2)	ファイル全体エラー	CCOM1556Se	○	○	○	○	○	○	○	
12	種別コード	種別コードが指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le	○	○	×	○	○	○	○	
13		種別コードが半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	
14		種別コードが発生記録請求(債務者請求方式)“11”または発生記録請求(債権者請求方式)“12”または譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のいずれかであること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	×	×	○	○	○	○	
15		種別コードが“21”総合振込となっていること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	×	○	×	○	○	○	○	
16	文字コード区分 (注3)	文字コード区分が指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le	○	○	×	○	○	○	○	
17		文字コード区分が半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	
18		文字コード区分がJIS“0”またはEBCDIC“1”であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	

表 付録-4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (2/3)

項番	チェック対象			チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否			
							①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行		
													同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し	
19	データ区分			データ区分が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×	○	○	○	○	○		
20				データ区分が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○	
21				データ区分が“1”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○	
22	集信1形式	総合振込形式	CSV形式	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○		
23	取引相手情報	利用者番号	—	利用者番号	取引相手情報の利用者番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	×	×	○	○	○	○	
24					取引相手情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	×	△ (注5)	○	○	○	○	○
25		金融機関コード	被仕向銀行番号	金融機関コード	取引相手情報の金融機関コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
26					取引相手情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注6)	○	○	○	○	○
27		支店コード	被仕向支店番号	支店コード	取引相手情報の支店コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
28					取引相手情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注7)	○	○	○	○	○
29					取引相手情報の支店コードが存在すること。	エラー	RCOM1033Se	○	○	○	○	○	○	○	○
30		預金種目	預金種目	口座種別	取引相手情報の口座種別が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
31					取引相手情報の口座種別が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○	○	○	○	○	○
32					取引相手情報の口座種別が普通“1”または当座“2”またはその他(別段)“9”であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○	○	○	○	○	○
33		口座番号	口座番号	口座番号	取引相手情報の口座番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
34					取引相手情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注8)	○	○	○	○	○
35	—	—	登録名	取引相手情報の取引先登録名が全角文字60桁以内であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○		
36	債権金額 (注9)			債権金額が指定されていること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○	×	○	○	○		
37				債権金額が10桁かつ半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○ (注11)	○	×	○	○	○	
38				債権金額が10,000円以上であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○	○	×	○	○	○	
39	取引先グループ			取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または1桁の半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×	○	×	○	○	○		
40				取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または非所属“0”または所属“1”であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×	○	×	○	×	○	○	
41	取引先所属グループ			指定した取引先グループが利用中であること。 (注12)	正常(ワーニング有)	RCOM1025Li	×	×	○	×	○	○	○		
42				指定した取引先グループに登録する取引先の件数が500件以内であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1026Li	○	○	○	○	×	○	○	○	
43	口座情報(重複・既登録)			ファイル内に同一の口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が存在しないこと。(注13)	エラー	RCOM1029Le	○	○	○	×	○	○	○		
44				「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が存在しないこと。(注14)	エラー	KCMN1065Le	△ (注15)	△ (注15)	△ (注15)	×	○	○	○	○	

表 付録-4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (3/3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行	
											同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
45	口座情報 (存在確認)	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報(口座情報)」への口座確認で、口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が確認できること。(注14)	エラー	KCMN1013Se	○	○	○	○	○	○	×	×
46		【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が確認できること。(注14) なお、本口座確認の実施条件は以下のとおり。 ・「取引先情報のグループ管理機能：利用しない」かつ「追加のみ」：実施しない ・「取引先情報のグループ管理機能：利用しない」かつ「全取引先を削除し追加」：実施する ・「取引先情報のグループ管理機能：利用する」：実施する	口座未確認	-	○	○	○	○	○	×	○	×
47	口座情報 (利用者番号の組合せ)	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報(口座情報)」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。(注16)	エラー	RCOM1030Le	○	×	○	○	○	○	×	×
48		【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。(注16) また、候補の取引先情報が複数該当する場合は、登録順が最も若い(直近で登録したもの)の、取引先情報の利用者番号との一致を試みる。	エラー	RCOM1030Le	○	×	○	○	○	×	○	×

(注1)	CSV形式については、「レコードの項目数が一致していること」、「カンマ区切り」、「改行はCR、LF、CR+LFのいずれか」をチェックする。(ダブルクォーテーションの有無は任意とする。)「レコードの項目数が一致していること」については、「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無に関わらず、項目数33、カンマ数32のチェックを行う。また、CSV形式のファイルフォーマットの、取引先グループID01~ID20(項番14~33)については、未設定も許容し、値の設定がない場合は、「0:非所属」として取り扱う。
(注2)	取引先情報ファイル登録画面で指定した登録方法により、チェック対象の件数が異なる。 ①登録方法:追加のみ 【既登録件数+ファイルのレコード件数】で20,000件を超えた場合はエラーとする。 ②登録方法:全取引先を削除し追加 【ファイルのレコード件数】で20,000件を超えた場合はエラーとする。
(注3)	総合振込形式の場合は、「コード区分」を対象に、本チェックを行う。
(注4)	CSV形式については、文字コード区分の項目が存在しないため、チェック対象外である。 なお、CSV形式は、Shift_JISのみ許容する。
(注5)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ「1桁以上、9桁以内」、「半角英数字」であることをチェックする。 また、利用者番号が9桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注6)	金融機関コードの値が「1桁以上、4桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、金融機関コードが4桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注7)	支店コードの値が「1桁以上、3桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、支店コードが3桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注8)	口座番号の値が「1桁以上、7桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、口座番号が7桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注9)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合、ファイル毎に、以下のとおり債権金額として利用する。 ①集債1形式の場合 : 債権金額 ②総合振込形式の場合 : 振込金額 なお、ファイルに設定されている金額が、0~9,999円の場合は、登録債権金額を利用しない。
(注10)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合に、本チェックを行う。
(注11)	CSV形式については、債権金額の値が「1桁以上、10桁以内」であることをチェックする。
(注12)	未使用の取引先グループを指定していた場合でもエラーとせず、チェックならびに登録処理を継続する。 その場合、未使用の取引先グループが指定されていたことを、ワーニングとして還元する。
(注13)	同一の口座情報がファイル内に複数存在した場合は、同一口座情報となるレコードを全てエラーとする。
(注14)	同一の口座情報の存在有無の確認には、ファイル中の「金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号」を用いることとし、「利用者番号」は含めない。
(注15)	取引先情報ファイル登録画面の登録方法で「全取引先を削除し追加」を選択された場合は、本チェックは行わない。
(注16)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ、本チェックを行う。